

校長室から

みなさん、こんにちは。ようこそ、鹿児島市立武岡小学校のホームページへ。

「持久走大会の実施」

実施の判断は迷うところであるが、2/1（木）の天気は、朝7時の時点で、9時から0.9mm、11時には3mmの予報だった。この日の為にお仕事の休みを取られている保護者の方もいらっしゃると思うが、天気は下降気味だったので、インフルエンザ・風邪等の状況も考慮し、「明日へ順延」とした。

結果、朝9時30分までは、きれいな「晴れ」だったが、その後、10時以降、雨足がかなり強くなり、校庭もびしょびしょの状態となった。

翌日、朝の7時段階では、午前中がずっと、0.3mm～0.4mmの予報。

しかし、雨自体は上がっていく方向でもあったので、子どもたちが雨に濡れる時間帯をできるだけ作らない形（走る前、応援中、走った後、閉会式は体育館で行うこととし）で、「実施」の判断をした。

体育主任がラインを校庭に引く間は、雨も収まり、何とか準備も整った。

結果、1，2年生が走る時が、一番、雨が降ったが、その後は、雨はやみ、予定通り、すべての学年の「走り」を実施することが出来た。

新記録もいくつか出て、何より、これまでの自分の記録を塗り替えた子供たちがたくさんいた。子どもたちの「頑張り」と、それを「応援」してくださる保護者の力でもあった。

何より保健体育部のPTAの方々の「見守り」もありがたかった。

もし、2/2（金）にできないとなると、学校行事としての「持久走大会」は、「中止」の予定だった。来週にかけて、それぞれの学年で、できる日を設定し、やることしかできない。またそうすると、スタッフの人数等も配置できないこともあったのだ。また、来週の天気もあやしいところであった。

結果的に、「持久走大会」を実施し、大きな事故等もなく終了できたことに感謝したい。家庭でも、子どもたちの頑張りをたくさん褒めてください。

歩道で、子どもたちの「激走」を応援していると、荷物を抱えたある若者が、私に話し掛けてきた。

「持久走ですか？」「そうですよ。」「ぼく、ここの出身でした。」「そうなの。」「持久走ではいつも最後の方でした。」「そうだったんだ。でも、最後まで走り切ったんだね。」「はい。」とあって、向こうの通りへ駆けていった。

その足取りの軽いこと。速いこと。とても後ろの方とは思えないほどだった。

小学校の持久走大会って、たった一日のわずか、5分から10分程度のこともかもしれない。「嫌だな。」と思う子どもたちもいたと思う。けれども、「走り切った！」「やり遂げた！」という経験は、その後、いい意味で、思い出すこともあるのかもしれないと感じた若者との出会いだった。